

# 6月議会 一般質問

## ★女性・若者の政治参画について



昨年成立した政治分野における男女共同推進法では、地方自治体にも政治分野での男女共同参画推進の環境整備を義務づけている。

知事は「女性の政治参画」の意義についてどう考えているか、また「投票に行く」だけでなく、議員になる若者を増やすために何をすべきか。

### <知事答弁>

- ・女性が政治参画をするのは世界の潮流。大切なのは実践。県は「よりん彩」を通じた支援活動をしてきている。また、鳥取県庁の女性管理職数の割合を全国一位にした。

### <教育長答弁>

- ・昨年度は出前総務教育常任委員会を青谷高校で開催。今後も続けていく。

**追及質問** 女性や若者の議員を増やす提案を2つする。

1. 政党が実施するもの以外に一般に開かれた政治参画研修会の実施
2. 女性や若者向けで自主的にテーマを設定する海外研修

### <知事答弁>

1. 研修会開催は「よりん彩」の事業活用ができる。女性や若者の組織による企画を支援していく。
2. 海外研修は「夢みなと基金」、「日本財団」の支援もある。若者や女性の海外交流事業もフォローアップしたい。



## ★美術館建設と県東部の課題について

新しい美術館建設予定地は倉吉に決まったが、東部県民は決定までの経緯に関してまだ納得できていない。鳥取県美術館整備基本構想検討委員会について、有識者とはいえなぜ県外委員が半数を占めたのか、建設候補地の検討委員会委員の出身地域は東中西部 3 名ずつで一見公平だが、東部と中西部の地域合戦になった。このような委員会は公平であったのか、傍聴席からヤジが飛び中で冷静な議論はできたか、各候補地のプレゼンを県民が聞き判断するプロセスがあってもよかった、など多くの声を聞いた。

---

また、桂見の候補地は12年間凍結のまま、建設地は倉吉に決まった。知事が市長に面会し